

## 公文書館第15回企画展

### 「『軍都計画』と相模原」その後 ～陸軍機甲整備学校（キャンプ淵野辺）の変遷～

「『軍都計画』と相模原」の第2弾として、第2次世界大戦終戦後の8つの陸軍施設のうち、陸軍機甲整備学校（キャンプ淵野辺）の接收、返還。そして地元利用の歩みを追う。

このような歴史に関する公文書等を展示します。

- 開催場所** 相模原市立公文書館  
（緑区久保沢1丁目3番1号 城山総合事務所第2別館3階）
- 開催期間** 令和元年7月5日（金）から9月8日（日）  
毎週月曜日（7月15日、8月12日を除く）毎月第3水曜日、7月16日（火）8月13日（火）は休館日です。
- 開催時間** 午前8時45分～午後5時00分
- テーマ** 「『軍都計画』と相模原」その後  
陸軍機甲整備学校（キャンプ淵野辺）のその後を追う。

相模原市立公文書館第15回企画展

# 「『軍都計画』と相模原」 その後

～陸軍機甲整備学校（キャンプ淵野辺）の変遷～



開催期間 令和元年  
7月5日(金) - 9月8日(日)

開催時間 午前8時45分 - 午後5時

休館日は毎週月曜日(7月15日、8月12日は除く)、7月16日(火)・17日(水)、  
8月13日(火)・21日(水)です。

開催場所 相模原市立公文書館 ☎ 042(783)8053

## 展示概要

現在、市立弥栄小学校、市立淵野辺公園、市立博物館や国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）国民生活センターなどのある場所は、昔は「キャンプ淵野辺」という米軍基地でした。さらにそれ以前は、日本陸軍機甲整備学校という戦車等を整備することを学ぶ学校でした。それらがどのように移り変わっていったかを歴史的公文書等で現していきます。

<主な展示資料>（一部変更になる可能性があります。）

### 陸軍施設の移転から終戦へ

- ・「軍都計画時代の軍諸施設配置図」(図)
- ・ミズーリ号での調印式（写真）

### 陸軍施設の多くは米軍基地（陸軍機甲整備学校はキャンプ淵野辺）に

- ・「連合軍（米軍）部隊の相模原進駐状況（1945年9月）」(図)
- ・昭和20年相模原町事務報告「民主的新日本ノ建設八着々トシテ実施セラレツ、アリ」
- ・「昭和21、22年度町会会議録及び議決書」（相模原町文書）(原本) (市立博物館)

### キャンプ淵野辺は

- ・「電波障害制限地区指定反対市民集会」1968（昭和43）年（写真）
- ・キャンプ淵野辺周辺における電波地役権の米側要求（昭和39、40年度 基地提供及び返還（原本））(神奈川県立公文書館所蔵)
- ・「市民総決起大会開催要項」(今井家資料) (原本) (市立博物館蔵)

### キャンプ淵野辺の返還

- ・「相模原市米軍基地返還促進市民協議会の結成」(原本)
- ・「地元優先利用実現に関する請願書」(原本)
- ・相模補給廠で修理された戦車等のベトナム輸送についての抗議文（複写）
- ・「キャンプ淵野辺返還式」(写真)



### 返還から地元利用への歩み

- ・『相模原市と米軍基地』(平成元年、渉外課) (図) 「全面返還された米軍基地」(折込図)
- ・「キャンプ淵野辺跡地利用構想図」(昭和57年3月) 『相模原の基地 よみがえるキャンプ淵野辺』(昭和57年、渉外課) (図)

[参考文献: 相模原市史「現代通史編」「現代テーマ編」「現代資料編」ほか]

## 相模原市立公文書館

〒252-5192

相模原市緑区久保沢1丁目3番1号

城山総合事務所第2別館3階

電話 042-783-8053



### 交通のご案内

橋本駅北口からは「橋01 三ヶ木」行き、南口からは「橋08 若葉台住宅」行きのバスが多く出ています。三ヶ木方面からは橋本駅行きバスを利用、「城山総合事務所入口」で下車、徒歩3分